

機器利用技術講習会のご案内

【金属粉末積層造形装置(金属RP)】

地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所では、所有している試験研究機器等を用いて中小企業の皆様の新技術・新製品の開発や生産管理・品質管理のお手伝いさせていただいております。これら試験研究機器の利用範囲や仕様・性能などの特徴を、より具体的にご理解いただき、皆様方に一層ご利用いただくため、下記の要領で講習会を開催しますので、ご案内申し上げます。

◆日 時：平成26年7月23日(水) 13:20~15:20

◆場 所：(地独)大阪府立産業技術総合研究所(和泉市あゆみ野2-7-1)

当日は、講習開始時間前に当研究所の玄関ホール講習会受付前にお集まりください。担当者が講習会場にご案内します。

◆定 員：5名(1社1名)

※受講票は発行しません。定員を超えたときは、お断りする方のみにご連絡します。

※受講にはTRIカードが必要です。まだお持ちでない方は当日お申し込みいただけます(無料)。

◆費用：無料

◆申込み先：(地独)大阪府立産業技術総合研究所 顧客サービス課

※お申し込みはメール(fukyu@tri-osaka.jp)またはFAX(0725-51-2509)でお願いします。

メールでお申し込みを頂いた方のみ、返信で受付をお知らせします。

なお、メールでお申し込みを頂いた方には、当研究所の関連情報をお知らせする「産技研ダイレクトメールニュース」を配信させていただきますので、ご了承下さい。

◆対象機器：金属粉末積層造形装置(金属RP)

金属粉末積層造形(RP)法は、CADモデルから複雑な3次元形状を迅速に造形できる加工法であり、工業分野では金型や機械部品の試作・開発や小ロット部品の迅速な製造に活用されているほか、医療分野においてもテーラーメイドの各種インプラントを作製できる技術として注目されています。

本講習会では、平成25年3月に導入しました右記の仕様の金属粉末積層造形装置(EOSINT-M280)について操作方法を説明します。また、金属RPの原理、特徴、造形事例や技術動向について解説します。

本装置は、最大出力400W、最小ビームスポット径0.1mmの高出力・高精度ファイバーレーザーを搭載した最新の金属材料用3Dプリンターであり、多種多様な金属材料に対応できることから、新商品の開発や製品の高付加価値化等に活用できます。(その他、本装置の詳細についてお知りになりたい方は下記講習担当までお問い合わせください。)



図 造形物の外観

表 装置の主な仕様

熱源	ファイバーレーザー 400W
ビームスポット径	0.1mm~0.5mm 可変
積層厚さ	0.02~0.08mm
造形サイズ	250×250×z325mm
雰囲気	窒素 または アルゴン
寸法精度	±0.02~0.05mm
最小の壁厚さ	0.3~0.4mm
材料	マルエージング鋼 Ti-6Al-4V Al-10Si-0.4Mg

◆講習担当：(地独)大阪府立産業技術総合研究所

加工成形科 主任研究員 中本 貴之、研究員 木村 貴広

・お問い合わせ先：顧客サービス課 (TEL：0725-51-2518)

